

# 叙述の仕方の確認 通過率 34.3%

解答類型		割合 (%)
○	一文め 平和は、世界の人々の願いです。 二文め 私は、改めてこの切手から平和の大切さを感じることができました。	33.2
○	一文め 平和は、世界の人々の願いです。 二文め 改めて私は、この切手から平和の大切さを感じることができました。	1.1
×	「できました」に対応する主語を補って二文目を適切に書いていない。	37.5
×	「…願いで、」で文を分け、二文にしていない。	1.4
×	上記以外の解答	16.4
—	無解答	10.4

## 叙述の仕方の確認 通過率経年変化



依然として課題です！

誤答を見ると、二文めの主語である「私は」を補うことができていない生徒が一番多い。「主語」が動作等の主体であることを理解できていないとともに、主語が省略された連続する文の中で、動作等に注目し、その主体となる「主語」が何であるかを判断できていないことが考えられる。

① 私は、この絵から平和への願いや未来への希望を感じました。  
なぜかというところ、平和の象徴である「羽のハト」が、夜の原爆ドームを上空から照らしているようにえがかれており、それがまるで焼け野原に夜明けが訪れているようにも見えたからです。

作者は、平和の願いが全世界へと広がり、人々が未来への希望をもって生きることを願ってこの絵をえがいたのでないでしょうか。絵を見るだけでそういった作

2 山本さんは、「鑑賞文の下書き」の②「平和は世界の人々の願いで、改めてこの切手から平和の大切さを感じることができました。」には、二つの内容がふくまれていることに気付かず、直すことにしました。次の条件1と条件2にしたがって書きかえなさい。

条件1 意味は変えずに二つの文にすること。  
条件2 二文めには「できました」に対する主語を補うこと。

## 内容の系統

第1・2学年 伝国イ(カ)  
・主語・述語の関係

第3・4学年 伝国イ(キ)(ク)  
・修飾と被修飾との関係、文の構成  
・指示語や接続語の役割

第5・6学年 伝国イ(オ)(カ)(キ)  
・語句と語句との関係  
・語感、言葉の使い方に対する感覚  
・文や文章の構成

中学校第1学年 書くこと  
エ 書いた文章を読み返し、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、読みやすく分かりやすい文章にすること。

思い出させましょう。

伝国…伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

**提案**

分かりやすい表現にするための推敲の指導を継続的に行うとともに、主語と述語の関係を意識する必然性のある言語活動を仕組みましょう。

これまで同様、様々な例文から主語を捉えさせる指導や、実際に主語を補って一文を二文に分ける学習活動を設定し、推敲前後の文を比較させて、主語を明確化させることで、読みやすくなったり相手に伝わりやすくなったりしたという実感をもたせる指導を行うことが重要です。ただし、一過性の指導にならないよう、様々な機会を捉えて、推敲の学習活動を継続的に仕組みましょう。他にも、三人称で書かれた物語を一人称の物語に書きかえるといった文の主語と述語の関係を意識する必然性のある言語活動を仕組みすることも考えられます。